

「常陸大宮市次世代育成支援地域行動計画」を策定しました

▶内田委員長より矢数市長へ計画書を答申



次代を担う子どもたちが、健やかに育つよう、また、夫婦が安心して子どもを産み育てることができるようなまちづくりをめざして、市民代表、有識者及び市が一体となり、策定委員会（委員長・内田助役）を設置し協議を行い、このほど「常陸大宮市次世代育成支援地域行動計画」を策定しました。

策定の趣旨

この計画は、今日、少子化の流れが一段と進むとともに、子どもたちを取り巻く家庭・地域社会の変貌を踏まえ、これまでの子育て支援にとどまらず、次代の親になる世代への支援等も含め、市民、行政及び地域社会全体が一体となり、子育てや子どもたちの成長を安心して見守れる地域社会を築くために具体的な施策を設け、「次代の子育て」に向けての取り組みを示したものです。

今後はこの計画の3つの基本理念を基にしたまちづくりを進め、市全体で次代を担う子どもたちが健やかに、そして元気に成長していける生活・社会環境づくりを推進していきます。

計画の3つの基本理念

- 1、将来を担う子どもたちが心身ともに健やかに成長できるよう、愛情豊かな環境づくりをめざします
- 2、夫婦が安心して子どもを産み育てることができ、それを社会全体で祝福できるような環境づくりをめざします
- 3、父母が子育ての意義と喜びを実感でき、それを社会全体で支援できるような環境づくりをめざします

主な新規の施策



- ◎地域における子育て支援
◆ファミリー・サポート・センター事業
- ◎つどいの広場の整備推進
- ◆乳幼児健康支援一時預かり事業
- ◆子育てアドバイザーの派遣
- ◆休日保育事業
- ◆子育て支援ガイドブック等の作成
- ◎要保護児童への対応などきめ細かな取組の推進
- ◆児童虐待防止ネットワークの整備
- ◆母子・父子福祉手当の支給
- ◎職業生活と家庭生活との両立の推進
- ◆男女の出会い・交流の場の創出支援
- ◎母親及び乳幼児等の健康の確保及び推進
- そのほか重点事業として22施策、継続事業については、81施策を計画しています。

○計画の期間は

平成17年度から26年度までの10年間で、社会経済情勢などに迅速に対応するため、21年度までの5年間を前期計画（今回策定）、平成22年度から平成26年度までを後期計画（平成21年度策定）として策定します。

○計画の展開・推進

すべての家庭を対象としたこの計画を総合的に行っていくには、市民の皆さんや地域の関係団体などの連携が不可欠です。子育てに関する情報を共有化し、実践的な施策の推進に向けて、市民の皆さんの一層のご参加とご協力をお願いします。

この計画書の内容など、詳しくは、福祉課子育て支援室へおたずねください。

【TEL】52-1111 内線138

